

News

おかげさまで 20 周年！！

2005 年に産声を上げた本法人は 20 周年を迎え、去る 7 月 25 日（金）に、設立 20 周年記念パーティーを開きました。法人理事や職員、個人、企業、行政の方々の参加を得てアットホームな雰囲気のパティーとなりました。

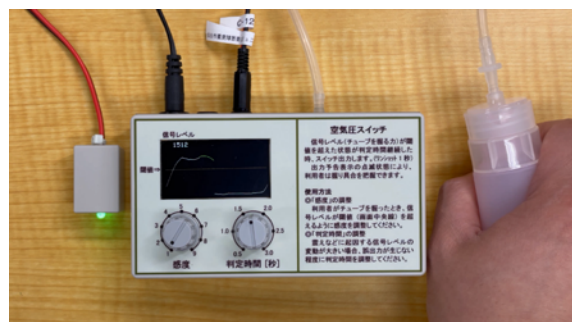
当初、年間事業費 1,000 万円ほどで始まった活動も、今はそのすそ野を広げ、年間事業費 6,000 万円の事業を担うまでに成長しました。障害者を対象とし、IT に特化した支援事業のプロパーとして今や宮城県内での知名度も高まっています。もちろん、幾多の困難もありましたが、関係者と皆さまの尽力のもと、何とか凌いで今日を迎えられました。振り返ると、実に様々な人たちの協力を得て組織として成長できたと感謝しきれない思いです。組織としてまだまだ未熟ですが、さらに 30 年、40 年と大きな節目を迎えられるよう、職員一丸となって邁進してまいります。引き続き、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



執筆：理事長 石野 莞司

活動紹介

リハ工学カンファレンスへの参加



8 月 8 ～ 10 日、東洋大学赤羽台キャンパスで開催された「第 39 回リハ工学カンファレンス」に参加し、仙台市重度障害者コミュニケーション支援センターの研究成果を発表しました。今回報告したのは、振戦を伴う重度障害者向け空気圧スイッチの試作成果です。本機は意図しない動きを除去する機能を備え、握るだけでご家族を呼べるシンプルな設計としました。検証では当初 50 回あったホームコールが精度向上により 3 回にまで減少し、大幅な改善が確認されました。利用者と介護者双方の安心感に寄与したと考えます。カンファレンスでは多くのご意見を頂き、専門家との意見交換を通じて今後の展開への手応えを得ました。私たちは、重度障害をお持ちの方がよりスムーズに意思を伝えられるよう、新たな「ものづくり」に挑戦しています。

執筆：仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター職員

令和年 7 度下半期の主なスケジュールの紹介をいたします。

2025

10 October

国際福祉機器展 参加
in 東京ビッグサイト

パソコンボランティア養成講座
開催 (委託)

at 宮城県障害者福祉センター
委託先：宮城県障がい者福祉協会

11 November

**日本難病医療ネットワーク
学術集会** 参加

ポスター展示・発表
in 滋賀県

第 1 回支援者向けセミナー
オンライン開催

【テーマ】
就労継続支援 B 型事業における障害者の IT 活用の現状

2026

1 January

第 2 回支援者向けセミナー
オンライン開催

【テーマ】
重度障害者へのコミュニケーション支援
の実際

職員のコラム



「念ずれば通ず」という言葉は昔から究極の意思伝達手段として言われていますが、実現する日も遠くないようです。脳波を解析し特定の思考や意図を解釈して外部に伝える技術 (BCI: Brain-Computer Interface) の研究が進んでおり、脳波を使って義手を操作したり、ゲームを楽しむことが現実のものとなりつつあります。この技術は、身体的な制約がある人々の意思伝達手段を大きく変える可能性を秘めており、今後の発展が期待されます。

執筆：職員 I

指の震えなどによる誤入力を減らす、
アクリル製のキーボードカバー

キーガード



オーダーメイド

キーボードセット販売

お問合せ

keyguard@san.or.jp

就労継続支援 B 型事業所

せんだい庵

完全在宅
利用可能



パソコン作業

初心者歓迎

静かな環境

さまざまな支援機器

お問合せ

sendaian@san.or.jp

会員募集

当法人では、事業に賛同し支援してくださる方々を募集しております。
ご支援いただける方は発行元までご連絡下さい。

年会費
(1 口)

・個人正会員

5,000 円

・個人賛助会員

10,000 円

・団体正会員

20,000 円

・団体賛助会員

50,000 円

